

「世界中で必要とされ活躍できるエキスパート育成のために」

岡山大学大学院保健学研究科 准教授 近藤麻理

2005年12月に保健学研究科では国際交流推進ワーキンググループを立ち上げ、組織的な活動として戦略的に展開・推進している。

国際交流を推進することの意義は、①我が国の保健医療システムを世界のスタンダードに照らし合わせ国際的な医療人を育成するために何が必要なかを明確にすること、そして、②保健・医療・福祉の国際化時代にあって保健学研究科の使命は何なのかを正面から考える機会をもつことである。

これまでの活動を通して、海外の人々と親しく交流する本学科学部学生・院生たちの生き生きとした姿は、私たち教員の嬉しい発見でもあった。高い専門性を有するエキスパートとして、日本だけではなく広く世界で活躍できる人材を養成するために、現在、国際的な視野で保健学を学ぶ環境として、講義内容の充実や現地への研修プログラムを着々と整えている。